



山村のモデルとなるまちづくりを目指して

鈴木重男 町長

前進！ 牛歩のごとく一步一步

施政方針

夢のあるまちづくりを推進

いま日本経済は未曾有の厳しい状況に直面しており、消費や雇用情勢が急激に悪化しています。こうした景気の低迷は、遅からずわれわれ山村地域の経済や住民生活への影響として深刻さを増してくるものと思われまます。

最近、国においては、農林業と農山村をしっかりと支えその再生と食糧自給率の向上を図るべきとする気運が高まってきており、農山村に追い風が吹き始めています。

私は、こうした中、町としても雇用の創出や公共工事の早期発注など、地域の活性化

平成二十一年度の町政の方向を決める町議会三月定例会は、三月四日から九日まで開かれました。議会初日の四日、鈴木重男町長はまちづくりの重要施策について、町総合計画の体系ごとに力強く施政方針を述べました。

や生活支援につながるよう補正予算、新年度予算と切れ目なく機動的に執行できるように取り組みます。今年、丑年です。東北一

の酪農の町、葛巻にふさわしい干支であると思います。牛の歩みのごとく一步一步着実に前進し、町民の皆さまが「住みたい町」「誇りを持てる町」と思える夢のあるまちづくりの実現に向け町政運営に取り組みます。

定住者助成支援などを創設

具体的な取り組みとしては、町総合計画の後期基本計画に掲げた重点プロジェクトを推進します。

地域インターネット事業と地上デジタル放送の受信基盤整備のための実施設計を行い、総合的な情報通信基盤整

備を進め、第一の安心あるまちづくりプロジェクトを推進します。

第二の活力あるまちづくりに向けた交流・定住人口の拡大プロジェクトでは、子ども農山漁村交流プロジェクトによる教育旅行の受け入れ等に

対応していくため新たに交流体験施設を整備します。また、移住希望者に対する土地取得の助成など、新たな支援制度を創設し、定住人口の拡大に努めます。

推進のプロジェクトでは、町森林組合が実施する低コスト施業による安全で効率的な林業の実現に向けた高性能林業機械の導入に助成し、森林の適正管理と町産材の利用促進を図ります。

今後とも自立可能な行財政を

今後とも自立可能な行財政基盤の確立に向けて、行政改革に取り組みます。このためには、職員の意識改革など資質の向上が不可欠であることから、県への職員派遣研修を

継続し、新たに滞納整理事務の向上を図るため、岩手県地方税特別滞納整理機構へ職員を派遣するほか職員の人事交流についても検討し、職員研修の充実を図ります。

施策1 健康で快適に暮らせるまちづくり

健康づくりの推進 新たに、食育の推進指針となる食育推進計画を策定します。

今年度から妊婦健康診査公費負担を一人十四回に拡大します。

また自殺予防対策のため、相談体制の充実を図ります。

病院経営 医師確保に全力を傾注し、電子カルテ導入や医師住宅二棟の整備を進めます。

そして、今こそ地域医療の中核施設として住民の生命と健康を守る病院の使命を肝に銘じ、町民から信頼される安全な医療の提供と経営健全化に努めます。

高齢者福祉 認知症高齢者が安心して生活できるよう、認知症サポーター養成講座を開催します。

障害者福祉 地域活動支援センター「すずらん工房」の改修に助成します。

子育て環境の充実 「子育て支援計画」の見直しを行い、子育て環境の充実をより一層推進します。



地域での食育に早くから取り組んでいる食生活改善推進委員

また、各保育所の改修を行います。

町営住宅 全戸に火災警報器を設置するとともに、町営堀の内住宅の通路や駐車スペースを整備し、入居者の安全確保を図ります。

施策2 地域で支え合うまちづくり

消防防災 現在工事を進めている地域インターネット基盤整備事業による屋外告知端末等を活用し、サイレンや火災情報の屋外告知など災害情報の即時提供等に努めます。また、第十四分団及び第十八分団消防ポンプ積載車の更新と第九分団小型動力ポンプの更新、防火水槽の整備を進めるとともに、第十二分団屯所建

施策3 環境を守り育てるまちづくり

一般廃棄物処理 ごみの再資源化と減量化を推進します。

また、二十一年度から盛岡広域圏での一般廃棄物処理施設建設に向けた調査事業実施のための負担金を措置しました。

マイマイガの対策 春には幼虫の大発生も想定されるため、防除薬剤配布などの防除対策経費を予算措置し、適時適切に対処し発生抑制に努めます。

地域エネルギーの活用 木質バイオマスガス化発電施設は、町が譲り受けてバイオマスエネルギー利用施設として今後有効活用します。また、



町民の願いは、この子どもたちと7,800人の笑顔